

解析学 I 演習に対する注意

- 演習の目的は (1) 各自が演習を通じて理解を確かなものにするこ
と, (2) 私が全体の理解度を把握する参考にするこ
と, にある。
- だから, 課題を提出しないことで不利になることはない。
- ただし, 提出するとほんの少しだけ有利になる。
- 演習中, 私への質問, 近くの人との相談・質問は自由に行ってかま
わないが, 立って歩いたりはしない事。相談可であるが, あまりう
るさくならないようお互いに注意する事。
- 課題は時間の終わりまでには提出する事。
- ただし, 時間内の演習が不十分と感じた人が追加のレポートを提出
することは可能である。提出を希望する学生は直接研究室へ持参す
る事。
- 演習問題の解説を適切な時期にネットに載せる。講義で配ることは
しない。
- 演習問題解説に間違いを見つけた人は連絡を (mail 可)。最初の指
摘者には修正点 1 点が加算される。
- 提出された課題は default では返却しない。返却を希望する学生に
対しては返却するので, 提出後 2 週間以降を目途として研究室に
来る事。
- 演習問題のすべてを演習時間にやることはできない。できない問題
は各自学習する事。
- 演習問題の中に星印のついた問題がある。これは解くと理論に対す
る理解が深まる問題であるが, 困難性も多く, 全員に解くことを要
求はしていない問題である。意欲のある人は積極的なチャレンジを。
- 演習問題の提出用紙には名前と番号を必ず書く事。それ以外は書い
ても書かなくてもよい。
- 番号は 10 桁の学籍番号の最後の桁を略した 9 桁の番号を記入す
る事。

Format が正しくないものは未提出と見なす。

再履修者へ : 昨年度までと Format が変更されていることに注意
すること。